

発刊にあたって

「松商学園短期大学総合研究所」は、松本大学の設立に伴って、「松本大学エクステンションセンター」の五つの機能（①学修支援②地域交流③資格取得④国際交流⑤地域総合研究）の一つとして「地域総合研究センター」へと衣替えしました。

「地域総合研究センター」は、「地域に根ざしたテーマについて、行政、企業、NPOなどと連携して総合的な視点から地域社会に関する調査・研究、地域への提言と実践」を行うことを目的としています。

松本大学は、「住み良い、幸せな地域社会づくりに貢献する」ことを“志し”としていますが、当センターもこの“志し”を共有して、その実践に努めたいと思います。

当センターのさまざまな実践の成果や調査・研究の報告は、当然広く情報伝達されなければなりません。本誌は、そのためにあるのであり、社会的寄与の大なることを願ってやみません。

本誌は、第一部に当センターの活動についてのレポートがまとめられています。第二部には、当センターの活動に直接関わりのあるなしにかかわらず、当センターの研究員でもある本学スタッフの多様な研究業績を収録しました。

当センターの活動が、本格化するに従い、第一部のボリュームが大きくなるわけですが、それはたいへん好ましいことであり、収録に悲鳴をあげるほどになる日の一日も早からんことを切に期待してやみません。

平成14年 9 月

松本大学地域総合研究センター

センター長 中 野 和 朗